

# さかえ

# 第8号

<編集・発行年月日>  
平成25年3月27日  
栄区役所福祉保健課  
栄区社会福祉協議会

# つながる通信

## 次世代育成・支援

### さかえ次世代交流ステーション



「さかえ次世代交流ステーション」は、子育て中の親子、障害のある方、青少年が活動・交流する拠点として、平成23年3月に整備された複合施設です。様々な交流を通じて、世代や環境にこだわらない、思いやりや優しさを持つ子どもたちの育成を目指しています。

では、施設を簡単に紹介します！

さかえ次世代交流ステーションレイアウト図

#### サポートセンター 相談支援室

障害のある方とその家族からの生活全般の相談や情報提供を行います。また、関係機関とのネットワーク化を進めます。

#### 栄区後見的支援室「とんぼ」

障害のある方とその家族の将来の希望や不安を伺いながら、地域で安心して暮らせる方法を一緒に考えます。

#### 学齢期の居場所「ぴっころんど」

学齢期の障害児を中心に、放課後や夏休みの活動場所を提供し、余暇活動を支援します。

#### 地域子育て支援拠点

##### 「にこいんく」

0歳～未就学児とその家族が安心して遊び相談し合える地域の交流スペースです。子どもの成長に合わせた発達プログラムやママのリフレッシュプログラムを行っています。

#### 青少年の地域活動拠点

##### 「フレンズ☆SAKAE」

幅広い年代の青少年が気軽に集える“居場所”です。陶芸やお菓子作り、演劇、ダンスなど様々なプログラムも実施しています。



【所在地】

栄区桂町7-1-1番地



「さかえ・つながるプラン」では、地域で子ども・青少年を育み、地域全体で子育て支援をすることを目指して、様々な取組を始めています。

次ページからは、子ども・青少年育成に関する地域の動き、地域をテーマにした子ども達の取組をご紹介します！！



## ～ 地域で子どもを育てる ～

### 地区社会福祉協議会メンバーによる”さかえ次世代交流ステーション”見学

平成25年2月26日(火)、地区別計画の推進に関わっている、各地区社会福祉協議会のメンバーが、「さかえ次世代交流ステーション」の視察見学に行きました。現在、地域では、子どもや青少年の見守り、子育て支援、次世代育成に向けた様々な取組を模索しています。今回の視察研修は、子育て支援、青少年育成の拠点である「次世代交流ステーション」の中にある「ぴっころんど」と「フレンズ☆SAKAE」を見学し、その機能と役割を学ぶことにより、今後の活動に活かすことを目的に実施しました。

### 参加者の感想

- ・次世代交流ステーションの存在を知り、各施設の役割を確認できた。地区社協活動と連携できるところを探っていきたい。
- ・次世代交流ステーションのように子どもが気軽に集まれる場所を地域の中にも作りたい。
- ・地域での見守りは、主に高齢者が対象となっているが、子どもや障害のある方も対象にしないでほしいと感じた。
- ・行政のサービスに頼るだけでなく、地域でサービスの隙間を埋められる町を作ることが大切だと思う。
- ・学校の空き教室を活用して、地域の中でボランティアによる子育て支援ができるのではないかな。

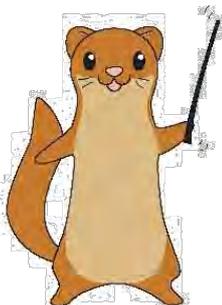


#### 【フレンズ☆SAKAE より】

特別なことではなく、日々のちょっとしたきっかけでいろいろな世代とつながることができます。「フレンズ☆SAKAE」から地域の情報を子ども達に発信し、子どもと地域をつなぐ役割を果たしていきたいと思います。

#### 【ぴっころんど より】

障害児について、知らないことで起こる偏見や誤解をなくしていきたいです。地域には、地域の一員として障害のある人も生活できるように見守ってほしいと思います。そのための取組を地域の皆さまと一緒にやっていきたいと思っています。



地区社会福祉協議会は、地域のボランティア団体、民生委員・児童委員、自治会・町内会、保健活動推進員、青少年指導員、当事者団体、福祉施設、学校等、地域の様々な個人や団体が会員となり組織されているため、幅広いネットワークを持っています。

そのネットワークを活かし、地域の中でできる子育て支援や青少年育成の取組を地域全体で考えていきたいと思っています。

次に子どもたちの取組を紹介します！



## ～ 子どもの想いを地域へ ～

さかえ・つながるプラン（栄区地域福祉保健計画）の取組として、子どもたちが地域の中で暮らしていることを実感し、自分たちにできることは何かを考えるきっかけとなるように“まちづくりカード”を作成し、区内小学校の授業で活用しました。

学校での学びや地域の方との交流の中から、子どもたちが感じたり考えたりしたことをいくつかご紹介します。



### ～笠間小学校～

6年生の授業で、「防災・防犯」「ふれあい」などのテーマに分かれて、調べ学習や体験学習をしました。地域の方々の協力を得たことで、より幅広く多くの意見が聞かれました。

#### 【子どもたちの感想】

- ・ 周りのことをよく見て、自分が気が付いた危険な所をポスターなどで呼びかけたい。
- ・ 地域の行事に参加して、お手伝いをしてみたい。
- ・ 災害が起きる時のことを考えて、地域の方が防災訓練をしていることが分かった。
- ・ できるお手伝いをして、安心して暮らせるまちにしていきたい。

### ～本郷台小学校～

6年生は、総合学習の中で、高齢の方や障害のある方への理解を深めてきました。その中で、地域ケアプラザの方から認知症の方への関わり方を学び、みんなが安心して暮らせるまちをつくるために自分たちにできることを考えました。



#### 【子どもたちの感想】

- ・ お年寄りが困っていたら助けたり自分から話しかけたりしたい。
- ・ お年寄りだけでなく、みんなにやさしくしたい。
- ・ みんなに認知症のことを知ってもらうために、ポスターなどをつくって知ってもらいたい。
- ・ 他校と協力して安心していける町を設計してみたい。

さかえ・つながるプランでは、みんなが安心して暮らせるまちをつくるために、地域の一人一人が取り組めることを大切にしています。子どもたちの気づきを大切に、これからも地域の中ではぐくんでいきたいと考えています。



# 「キャリア教育・生き方を選ぶ」

1月29日、庄戸小学校「キャリア教育・生き方を選ぶ」の授業に、“庄戸の元気づくり”が、講師として参加しました。「キャリア教育・生き方を選ぶ」とは、6年生を対象に行われた授業で、中学校進学を控え自分なりに人生を考えようとする時期に、仕事をリタイアした地域の方々に講師を招き、人生の先輩たちの職業に関する生の声を生徒に届ける、というものです。またこの授業は地域の方たちと小学生との交流を教育活動に組み込む取組でもあります。

講師は“庄戸の元気づくり”のメンバーだけにとどまらず、地域へも募集をかけ、看護師、パイロット、教師など13名。45分間と限られた時間ではありましたが、子どもたちも積極的に質問をしていました。身近な地域で暮らしている人達が一歩どのような仕事を選びどのように仕事をしていたのかを知る良いきっかけになったのではないのでしょうか。

講師にとっても自らの仕事について語る事で、仕事でのやりがいなどを振り返る機会になったようです。



“庄戸の元気づくり”とは庄戸地域を中心に、地域住民のお互いの協力により元気で住み続けたいコミュニティの充実を目指すボランティア団体です。



栄区地域福祉保健計画「さかえ・つながるプラン」は、栄区がより暮らしやすい街となるよう策定したものです。7つの基本方針にそって、地域、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザがそれぞれの取り組みをすすめています。

栄区地域福祉保健計画の冊子は、栄区役所福祉保健課（区役所新館3階304番窓口）のほか、栄区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザなどで配布しています。本冊子は区役所ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/guide/fukushi/2chifuku.html>

※ 音声訳ボランティアの会 COSMOS の協力により、音声訳版を作成しました。栄区社会福祉協議会へお問い合わせください。

たれもが幸せな  
社会をめざして



さかえ・つながるプラン

◆ さかえつながる通信についてのお問い合わせは・・・

栄区役所福祉保健課事業企画担当

電話：894-6962

Fax：895-1759

横浜市栄区社会福祉協議会

電話：894-8521

Fax：892-8974